

を強化して一般車や作業従事者の安全確保を徹底し、無事故無災害で工事完成を目指す」と呼び掛けた。

工している舗装補修工事現場をパトロールし、進捗（しんちよく）状況と安全衛生管理活動を確認した。2023年度全国労働衛生週間準備期間の取り組みの一環。本社からは原田秀一技術顧問と堂尻伸二安全環境部長が、関東支店からは平井明工事部長と小林修安全環境部長が参加した。

現場は「常磐自動車道水戸舗装補修工事」（東日本高速道路関東支社水戸管理事務所発注）。同事務所管内の常磐自動車道岩間IC（いわき勿来IC間や、北関東自動車道桜川筑西IC（水戸南IC間などで舗装補修工事を行う。パトロール当日は茨城西ICのCランプで事前調査工事が行われた。

自分の身を守る行動を

佐藤渡辺の石井社長
茨城で現場パトロール

佐藤渡辺の石井直孝社長は13日、茨城県茨城町で施



前列中央が石井社長（報道発表資料から）

パトロール後、石井社長は「安全指示、作業指示をしっかりと行って作業していることを確認した。高速道路本線上の作業は常に一般車と接触する危険がある。走行ルールを守らない一般車がいることも認識し、自分の身を守る行動をしてほしい」と述べた。

同行した橋本秀浩関東支店長は「受損事故防止対策

